

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット10頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ① 中核遺跡 <五郎沼経塚(1)>

昭和26年5月刊行の「奥羽史談2巻2号」に、この経塚の発見時の様子が掲載されています。

— 紫波郡赤石村— 五郎沼の経塚 畠山栄一郎

(前略)・五郎沼の経塚は享保年間、蛇蟻塚と知られ紫波郡赤石村大字南日詰に在る。これは北隣の古碑数基ある箇所と反対に、南東の丘陵で昭和九年に郷倉建設の爲地下を掘って判った。地下数尺の處に地盤を固めて周圍に石を置き、中央には徑瓶を据え素焼と青銅の二重徑筒に徑文が納めてあった。徑瓶の蓋上に魔除の短刀、石柳様の数個の川石があり、底は粘土を敷き木炭を入れ筒の上を墓石で盛っていた。百の史観もさることながら、これは実際の話である。紫波郡の歴史は・・(後略) 註 徑筒と徑文は現在小学校に保管、直刀及び青銅筒は□□方にある。

このように五郎沼経塚では、銅製経筒を用いた作法に則った納経が行われており、格式の高い儀礼がおこなわれたことを読み取れます。(次号に続く)

《《《 3～4月行事予定のお知らせ 》》》

3月23日 (水曜日) ※ 町教委の発掘調査報告会の日時が重複のため第4週に変更しました。ご注意ください。	第70回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡にみる奥州平泉 1 発表者：高橋敬明 テーマ：比爪館と関連遺跡の発掘調査
4月10日 (日曜日)	平成28年度定期総会	午後2時から午後5時まで 赤石公民館 * 総会終了後、懇親会を行います。 * 詳細については、3月下旬にお知らせします。
4月20日 (水曜日)	第71回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：高水寺 2

☆☆☆☆☆☆ 平成27年度紫波町発掘調査報告会開催のお知らせ ☆☆☆☆☆☆

主催 紫波町教育委員会

日時 平成28年3月16日(水) 午後7時から8時30分まで(受付：午後6時40分から)

会場 紫波町中央公民館 2階 研修室

内容 発掘調査報告(南日詰大銀Ⅱ遺跡)、町内郷土史関係団体活動報告、出土遺物解説

参加 申込み不要。ただし、50名を超えたときは、お断りする場合があります。

◎ 比爪館の領域が、北上川に達していたことを明らかにすることができる、大銀Ⅱ遺跡の平成27年度発掘調査成果を知ることができる大切な機会です。会員みんなで参加しましょう!!

※ ※ ※ 比爪館跡の発掘調査 No.27 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

比爪館 第8次・19～22次発掘調査概報 <紫波町教育委員会(平成16年3月31日発行)>

【第20次発掘調査】

調査に至る経過

今回の遺跡調査は、平成8年3月27日に当委員会が、民間の宅地造成計画に基づき試掘調査を実施したことから始まる。調査区は館内北端東寄りにあたるが、試掘調査によれば若干の井戸跡・土坑・小柱穴のみとなっており、開発者との協議の結果、計画の変更は困難との結論に達したため、全面精査実施のうえ記録保存を目的とした調査となった。

要項

〔調査面積〕 525㎡

〔原因〕 域内の下水管地下推進工事

〔場所〕 岩手県紫波郡紫波町南日詰字箱清水

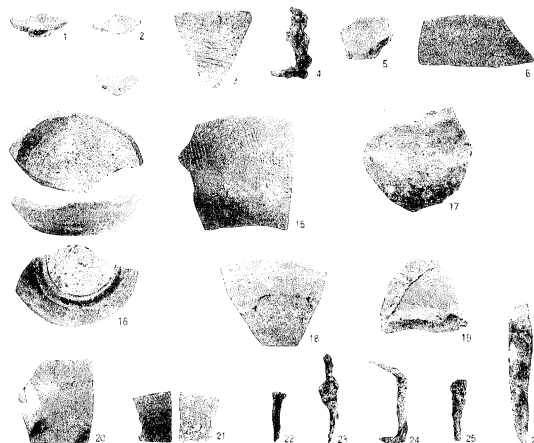
〔調査員〕 元吉弘明

検出遺構

調査区南側上位面は、全域重機をもちいて35～40cmほどの表土を除去、その直下地山土上漸移層にて、土坑やその他時期不明の小柱穴等を検出した。各土坑から、かわらけや国産陶器など、12世紀と思われる遺物が出土している。上位面北側3分の1では遺構が全く検出されなかったため、調査時の土置き場とした。また調査区北端にて東西に走る広い遺跡を検出したが、これは比爪館の西北東三方を囲む大溝と思われる。この溝跡調査の段階では異物がまったく出せず、覆土上半は後世の攪乱後のものと判断されたことから、南のり面は一カ所のみトレンチを入れての調査とした。



検出遺構写真



出土遺物写真

会 員 投 稿

2月の月例会は、金濱さんの「高水寺1」の発表でした。高水寺は、称徳天皇の勅願寺というのは本当だろうか、と疑念を持ったのが動機だったそうですが、称徳天皇勅願の観音像についてインターネットで探し、三重県の津市まで足を運んだ行動力が、すごいと感心しました。

発表後の意見交換では、吾妻鏡の「是為 称徳天皇勅願。」の解釈などについて議論百出？で盛り上がり、とても楽しい時間となりました。仏像が古くても、お寺が古いとは限らないことも学ぶことができました。文献だけで発掘調査の裏づけがなければ“まがいもの”という話は強烈すぎるように感じました。

玉山にあるお寺の丈三の観音像に興味をわきました。そのうち自分の目で見たいものです。それにつけても町内に安置されている県指定文化財の木造十一面観音立像を、簡単には拝観できない状態らしいのは残念で口惜しいことです。保存状況も心配です。なんとかならないものか、という思いが募ったのは私だけだったでしょうか。